

●昭和52年 4月20日印刷

●昭和52年 6月 1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

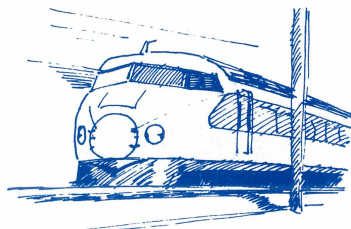
(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京 9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



飛行機は落ちるから絶対に乗らないという人がある。乗りなれた人でも 離着陸の一瞬はイヤなものらしい。完全にオートメ化され二重三重の安全装置を持つ 時代の先端を行く航空機でさえ 事故は避けられないものなのだ。鉄道の使命の第一は「安全輸送」であるといわれる。もっともなことであるし ぜひそうあってほしいが 現実はどうであろうか——？確かに安全のための設備は進歩充実しているが その大小を問わず事故は今日も起きている。不可抗力と考えられるものや いわゆるタルミ事故もあるが 技術的なミスも少なくない。いろいろな考え方もあろうが 技術の進歩にふさわしい「技術哲学」が欠けていることが 十年一日のごとく事故が繰り返される根本的な原因といえないだろうか。

どんなに高度な技術を駆使した機械でも 絶対に故障がないとは断定できない。高度化し複雑化すればするほど 故障の確率も高くなる。その確率を抑え 列車の安全を守る「運転保安装置」を中心に無事故への道を歩もうとする鉄道の姿勢をさぐってみよう。

定価530円 〒60円

1977-6 もくじ

- | | |
|----|--------------------------|
| 7 | レールウェイ・レビュー グリーン料金論争 |
| 8 | ニュース・ファイル(国鉄・民鉄・海外鉄道の動き) |
| 14 | 車両基地(国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車) |

特集●列車の安全を守る

15 出発進行！

RGG／編集部

★特別企画★急行く佐渡 3号>脱線転覆！

23 上越線落石事故の解剖

種村直樹／沖 勝則

30 国鉄の運転保安システム

原田良一

39 新幹線総合指令所

編集部

50 国鉄の近代保安設備

原田良一

私鉄の運転保安システム

58 札幌市交通局

米澤和夫

62 帝都高速度交通営団

大塚和之

68 阪急電鉄

酒井次得郎

73 人こそ「安全」のかなめ

岡 壽麿

76 国鉄列車事故・保安100年

種村直樹

84 栄光と伝説の名列車 オリエント急行(続)

山之内秀一郎

レールウェイ・トピックス

83 さようなら尾小屋鉄道

95 クモヤ143形が登場

松田清宏

96 東急電鉄デヤ3000形デビュー

宮田道一

97 車両とともに30年(6)

田邊幸夫

103 トップ・アングル

109 レールファン・ノートから② 乗車券と駅弁

本島三良

117 韓国鉄道の旅(1)

渥見昇光

125 想い出の別子鉄道

松本昌太郎

128 ある先覚者の軌跡をたどる⑩京仁鉄道

伊藤東作

ブルー・トレイン

◆ワイドレンズ/鉄道友の会だより(110) ◆新聞記事ざっくばらん(111) ◆魚眼/ズームレンズ(112) ◆タブレット(113) ◆R Jクイズ/こちらジャーナル編集室/乗務員室/次号予告(118)

表紙写真／進行現示によって疾走するくあずさ>(武蔵小金井で)

カメラ・荒川好夫